

夢への一歩を踏みしめながら

就職から得たもの

「夢」…それは誰しもが持つ、自分自身への望み。

足羽ワークセンターの利

用者の方も同じです。

その中から、施設外就労(職

業訓練)と実習を経て、愛全

園にめでたく就職された吉

田雅貴まさたかさんをその夢とともに

紹介します。

今回の主役

吉田さんを一言でいうと「真直で真面目な方」です。就職に向けた実習を愛全園で行うことが決まった頃は不安気に、職員に「やれるだろうか」「だめならどうしよう」と口にすることが多くみられました。

しかし、日々実習を重ねることで「わからないことは職員に聞く」「自ら考えをめぐらせ、仕事に工夫をする」などの積極性が垣間見られるようになりました。この努力が認められ、長年の夢であった就職の道が開けたのです。その夢が実現した今、就職したことでの心境の変化があったのか、また、改めて今後の夢について率直に語っていただきました。



愛全園の職員からも頼りにされています。

就職してから変わったと思うことは？

職員の方々が本当に自分のことを気にかけてくれることがわかり、とてもうれしいです。自分のせいで仕事が遅れているときであっても「そろそろ電車の時間だから上がって良いよ」と声をかけてくださいます。そんな優しい言葉に甘えることなく、休み時間が終わる少し前には、仕事場に戻り、少しでも早く仕事が終わるよう行動しようと考えようになりました。

働いていて、いちばん楽しみなことは？

家族と過ごす時間です。初給料をいただき、その金額を見てびっくりしました。こんなにもらって良いのかと明細から目が離せませんでした。でも、たくさん給料がもらえたからといって、無駄遣いすることなく、貯金をしていきたいと思っています。僕は仕事をすることが親孝行につながると思います。家族旅行に連れて行ったり、テレビを買ったりする日は、まだまだ遠い日になると思いますが、まずはしっかり仕事をしたいと思っています。

将来の夢は？

今は、愛全園の利用者の方の笑顔がいちばん大切です。また、職員の方と接することも自分の中では大切なことだと感じています。自分がたく



さんの人たちにしてもらったように、自分を必要としてくれる人たちに、日々丁寧に接し、楽しい人だと思ってもらえることが今の自分の夢です。

夢に向かって

「就職する」という夢を持ち続け、それが叶った今、吉田さんは新たな夢に向かって歩み始めています。仕事を一生懸命することは、親孝行や利用者の方々の笑顔、職員同士の絆の強さになることに気づき、日々それを実践しています。

インタビューに対する堂々とした受け答えからは、愛全



ピカピカに磨き上げます!

園職員としての自覚が感じられました。

今回、以前吉田さんと共に働いていた他の利用者の方とご家族から、吉田さんへのメッセージをいただきました。

これまで苦楽をともにした仲間の応援やご家族の協力が心の支えとなり、後押しになり、吉田さんの新たな夢は広がっていくと思います。

(仲間からのエール)

● 身体には気をつけて、お仕事頑張ってください。
(女性 Aさん)

● 目標にしていたので自分もしっかりと就職したい。
(男性 Bさん)

● 自分は就職はできないかも知れないが、一緒に過ごした仲間として見守りたい。
(男性 Cさん)

職員としても吉田さん自身が歩み始めた夢が、二歩、三歩と確実に進むよう、あたたかく見守りながら、その夢が叶うことを心より願っています。

(ご家族の思い)

愛全園で正式に就職できることになって本当に良かったと思っています。雅貴のことをいつも気にかけてくださる職員さんに支えられながら、一日一日を雅貴なりに少しでもお役に立てられるように愛全園で頑張っています。

ここまでこれたのは、本当に足羽ワークセンターや愛全園の職員さんの親切なご指導のおかげだということも一日も忘れることなく、作業に励んで欲しいです。また、雅貴なりに利用者の方々にいたわりの気持ちを常に持って、あいさつや会釈を忘れないで欲しいです。
(母より)

みんなの広場

足羽ワークセンター職員紹介☆

足羽ワークセンターに勤務する高山洋平支援員は、とても家庭的です。料理を作ることが大好きで、欠かさずお手製のお弁当を持ってきます。

お弁当作りは、何かと手間がかかってしまうため、コンビニで買ってくる職員が多い中、お子さんが寝てから夜のうちに作るそうです。その“できれば”には、女性職員も舌を巻きます。

そこで、今回、自慢のお弁当作りの様子を公開していただきました☆



真剣ですね～!



彩り鮮やかですね☆